HAKKO

HAKKO FX-888D

SOLDERING STATION

取扱説明書

このたびはハッコー FX-888Dをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
お使いになる前に必ず本書をお読みください。
お読みになった後も、後日お役に立ちますので大切に保管しておいてください。

1. セット内容と各部名称 最初にセットの内容をご確認ください。

ハッコーFX-888Dステーション 1
ハッコーFX-8801 1
こて台 1
取扱説明書 1
クリーニングワイヤー 1
保証書 1

* ハッコー FX-888Dにはハッコー FX-8802/FX-8803/FX-8804 が接続可能です。
* 上記 (ハッコー FX-8802/FX-8803/FX-8804) こて部をご使用の方は、専用のこて台をお使いください。

2. 仕様

品名	ハッコーFX-888D
消費電力	AC100V 50/60Hz 70W

● ステーション部

出力電圧	AC26V
制御温度	200～480℃ (400 - 899℉)
温度精度	無負荷時リップル温度±1℃ (±1.8℉)
外形寸法	100(W)×120(H)×120(D)mm (3.9 × 4.7 × 4.7 in.)
重量（除コード）	1.2kg (2.6 lb.)

● ハッコーFX-8801（こて部）

	ハッコーFX-8801
消費電力	AC26V 65W
こて先アース間抵抗	< 2 Ω
漏れ電圧	< 2 mV
ヒーター	セラミックヒーター
コード	1.2 m
全長（除コード）	217 mm （B型をつけた場合）
重量（除コード）	46 g （B型をつけた場合）

※ 温度表示はハッコーFG-100で計測した温度です。
※ 本製品は静電気対策されています。
※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

⚠ 注意

■ 静電気対策品への取り扱い注意

本製品は、プラスチックへの導電性付与、こて部・ステーション部の接地といった静電気対策が施されていますので、下記の注意を厳守してください。

1. グリップなどのプラスチックは、絶縁物ではなく導電性プラスチックです。修理時には十分注意を払い、活電部の露出・絶縁材の損傷がない様部品交換、修理を行なうこと。
2. 必ず接地して使用すること。

※ 各言語（日本語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語）の取扱説明書は以下のURL、HAKKO Document Portalからダウンロードしてご覧いただけます。
（商品によっては設定の無い言語がありますが、ご了承ください）
* 各國語言(日語,英語,中文,法語,德語,韓語)的使用説明書可以通過以下网站的HAKKO Document Portal 下載參閱。
(有一部分的產品沒有設定外語對應,請見諒)
* Instruction manual for the language, Japanese, English, Chinese, French, German and Korean can be downloaded from the following URL, HAKKO Document Portal.
(Please note that some language may not be available depending on the product.)

https://doc.hakko.com

HAKKO
白光株式会社
http://www.hakko.com
〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号
TEL：(06) 6561-1574（代）FAX：(06) 6568-0821

2012.5
MA02468XZ120517

3. 安全及び取扱い上のご注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の２つに区分して表示しています。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

⚠ 警 告：誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意：誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 警 告

電源を入れると、こて先の温度は200～480℃の高温に達します。
取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。
- こて先周辺の金属部に触れないでください。
- 燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 周囲の人に「高温につき危険である」ことを知らせてください。
- 使用を中断または終了する時や、その場を離れる時は電源を切ってください。
- 部品交換時や収納時は必ず電源を切り、十分に冷えたことを確認してください。
- 管理責任者の許可なく、経験や知識のない者（子供を含む）が、この製品を使用しないように注意してください。
- 子供がこの製品で遊ばないように注意してください。
- 電源コードが断線した場合は、危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格がある人に交換してもらう必要があります。

● 事故や故障につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

- 取扱説明書に書いてあること以外の用途で使用しないでください。
- はんだかすを取るために、こてを作業台に打ちつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- 本品を改造しないでください。
- 交換部品には、純正部品を使用してください。
- 製品を濡らさないでください。また、濡れた手で使用しないでください。
- コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- はんだ付けする際、煙が発生するので、よく換気をしてください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

4. 組み立て

A. こて台を組み立てます。

1. スポンジ小をこて台ベースの凹部に入れます。
2. こて台ベースに水を適量入れます。スポンジ小が水を吸いいつも湿った状態を保てます。
3. スポンジ大を水に濡らし、こて台ベースに置きます。

スポンジ大
スポンジ小

⚠ 注意

スポンジを水に濡らさずにそのまま使用すると、こて先をだめにしてしまうことがあります。

※クリーニングワイヤーを使用する場合
右のイラストのようにクリーニングワイヤーをこて台に入れます。使用方法については**7.メンテナンス**の「**2.クリーニングワイヤーを使用**」を参照してください。

B. こて部をステーションに接続します。

⚠ 注意

こて接続コードとレセプタクルの抜き差しの際は必ず電源を切った状態で行なってください。電源が入ったままでは基板が壊れる可能性があります。

1. こて接続コードとレセプタクルを接続します。

プラグを奥までしっかり差し込みます。
レセプタクル
はずす時はプラグを持って取りはずしてください。

⚠ 注意

・適応外のこて部（「1. セット内容と各部名称」を参照）を使用した場合、仕様通りの性能が出ない可能性があります。

2. こて部をこて台に置きます。
3. 電源プラグをコンセントに差します。

⚠ 注意

本機は静電気対策が施されていますので、必ず接地してご使用ください。

5. 使用方法

●操作と表示の説明

スイッチと操作ボタン

ハッコーFX-888Dのフロントパネルには2つの操作ボタンがあります。

(UP) ー設定を選択、変更するボタンです。
プリセットモード時・・・・・動作中に押すとプリセット選択画面へ移行します。
1秒以上押し続けた時・・アジャストモードへ移行します。

(ENTER) ー入力値を決定するボタンです。
1秒以上押し続けた時・・温度設定モードへ移行します。
押した時間が1秒未満の時・・すでに入力されている設定温度を表示します。

5. 使用方法

A. 電源スイッチを入れます。

電源が入ると 8.8.8. が２秒間、続いて設定温度が２秒間表示され、その後現在の温度が表示されます。制御が安定すると右下のヒーター通電ランプが点滅に変わります。

⚠ 注意

・使用しない時は、こて部をこて台に置いてください。
・長時間使用しない時は電源を切ってください。

B. 使用後にやっておくこと。

作業が終わりましたら、こて先をきれいにぬぐい、新しいはんだで先端を覆ってください。

■ 様々な設定の変更について

⚠ 注意
温度設定モードやアジャストモード等、設定変更画面が表示された状態で1分以上放置しますと元の表示に戻ります。

● 設定温度の変更

設定温度を変更する方法は、通常モードとプリセットモードの2通りあります。
温度設定範囲は200～480℃（400～899℉）（工場出荷時は350℃に設定されています。）

● 通常モード
例: 350℃から400℃に変更する場合

これで内部メモリーに記憶され、新しい設定温度を表示後、ヒーター制御を始めます。

● プリセットモード
ハッコーFX-888Dには上記の手順で温度を変更する以外に、任意に設定した温度（最大5個まで登録可能）を選択するプリセットモードがあります。

初期の各プリセット温度
- P1 ：250℃ (482℉)
- P2 ：300℃ (572℉)
- P3 ：350℃ (662℉)
- P4 ：400℃ (752℉)
- P5 ：450℃ (842℉)

初期のプリセット個数は5個、プリセット番号は3（350℃）です。

例: プリセット番号1（250℃）からプリセット番号3（350℃）へ変更する場合

これで新しいプリセット温度でヒーター制御を始めます。

現在選択しているプリセット温度自体を変更する手順は、**5. 使用方法**の「**●通常モード**」と同じです。そちらをご参照ください。

モードの変更はパラメータ設定画面で行います。（「●パラメータ設定変更」を参照）

5. 使用方法

● 設定した温度の調整を行なう場合

こて部を替えたとき、またヒーターやこて先を交換したときには温度の調整が必要となります。
設定した温度の調整を行なう場合にはアジャストモードを使用します。

⚠ 注意
・アジャストモードでの入力は必ずこて先温度が安定してから行なうようにしてください。
・アジャストモードでは設定温度に対して±150℃（270℉）を超える入力ができません。150℃を超える場合、一度150℃で調整後、再度こて先温度を測定して入力してください。

例: 設定温度が400℃で実際のこて先温度が380℃である場合

1. (UP) ボタンを2秒以上押し続けます。

● アジャストモードに入ると表示部の3桁目が点滅し、入力可能であることを示します。

2. 表示を [4.0.0.] から [3.8.0.] へと変更させます。

● 変更の手順は**5.使用方法の「● 通常モード」**と同じです。3桁目の入力可能な数値は0～6（℉モード時は、1～9）、2桁目、1桁目の入力可能な数値は0～9です。（℉モード時も同じです。）

※設定温度の変更とアジャストモードの見分け方
温度設定時とアジャストモード時では以下のように表示が違います。

⚠ 注意
入力時は識別ランプを良く確認し、違うモードで入力しないよう、注意してください。

3. 数値を変更後、(ENTER) ボタンを押して設定を終了させます。

● 終了後、設定温度に合うようにこて先の温度が変化します。

● 設定変更に制限をかける（パスワード機能）

ハッコーFX-888Dは不用意に設定を変えられないように、各モードへの移行をパスワードで制限することが可能です。パスワード設定は以下の3種類の選択肢があります。（工場出荷時は"0：無効"に設定されています）

	0：無効	1：カスタム	2：有効
パラメータ設定モード移行	○	×	×
温度設定モード移行	○	△	×
プリセット選択モード移行	○	△	×
アジャストモード移行	○	△	×

○：各モードへパスワードを入力せずに移行できます。
△：パラメータ設定でパスワード機能の有無を選択できます。機能を有効にした場合、パスワードを入力しないと移行できません。（詳細は「6. パラメータ設定」をご参照ください。）
×：各モードへパスワードを入力しないと移行できません。

パスワードは3文字を入力する形式で、右の6文字から選択します。

パスワード選択可能文字

例: パスワードで制限されている時の温度設定モードへの移行手順（パスワード：AbCの場合）

パスワード入力後、各モードの設定変更画面へ移行します。以降は各モードの設定手順に従って変更を行なってください（上記例の場合は**5. 使用方法の「● 通常モード」**をご参照ください。）

6. パラメータ設定

ハッコーFX-888Dは以下のパラメータを持っています。

パラメータ名	パラメータNo.	値	初期値
°C / °Fの切り替え	01	°C / °F	°C
下限エラー設定	03	30～150°C (54～270°F)	150°C
設定モードの切り替え	11	0：通常モード / 1：プリセットモード	0
プリセット個数の選択*		[2P]（2個）～[5P]（5個）	[5P]
パスワード設定	14	0：無効 / 1：カスタム / 2：有効	0
温度設定モード**		[1 0]：○ / [1 1]：×	[1 1]
プリセット選択モード**		[2 0]：○ / [2 1]：×	[2 0]
アジャストモード**		[3 0]：○ / [3 1]：×	[3 1]
パスワード***		AbCdEFから3文字選択	-

* 設定モードで"1：プリセットモード"選択時のみ表示されます。
** パスワード設定で"1：カスタム"選択時のみ表示されます。
***パスワード設定で"1：カスタム"か"2：有効"のどちらか選択時のみ表示されます。

ハッコーFX-888Dは4つのパラメータを持っています。

● 01：℃、°Fの切り替え

表示温度を℃と°Fのどちらかに切り替えます。

● 03：下限エラー設定

ヒーターがONになっているにもかかわらず、こて先温度が設定温度に対して設定値以上に低い温度の場合、下限エラーとしてエラー表示を行ないます。

● 11：設定モードの切り替え

温度の設定方法について、通常モードとプリセットモードのどちらかに切り替えます。プリセットモードを選択した場合、プリセット個数を聞いてきますので、(UP) ボタンを押してプリセット個数を設定します。

● 14：パスワード設定

パスワード設定を無効、カスタム、有効の3種類から選択します。有効を選択した場合は、その後パスワードの設定を行ないます。カスタムを選択した場合は温度設定、プリセット、アジャストモードへの移行時のパスワード入力の有無と、パスワードの設定を行ないます。

■ パラメータ入力モード

1. 電源スイッチを切ります。
2. (UP) ボタンを押しながら電源スイッチを入れます。
3. 画面に [01]（パラメータNo.）と表示されればパラメータ入力モードに入っています。

● ℃（摂氏）、°F（華氏）の切換え

1. [01] 表示時に (ENTER) ボタンを押すと [C] または [F] が表示されます。
2. (UP) ボタンを押すと [C] と [F] が交互に切り替わります。
3. 選択後 (ENTER) ボタンを押すと画面は [01] に戻ります。

● ヒーター下限エラー

1. (UP) ボタンを押し、画面の表示を [03] と変えます。
2. (ENTER) ボタンを押すと下限設定温度が表示されますので、設定温度になるよう数値を変更します。設定の手順は**5. 使用方法の「● 通常モード」**をご参照ください。
3. 設定後 (ENTER) ボタンを押すと画面は [03] に戻ります。

● 設定モードの切り替え

1. (UP) ボタンを押し、画面の表示を [11] と変えます。
2. (ENTER) ボタンを押すと設定モードの選択画面へ移行します。(UP) ボタンを押すと [0]（通常モード）と [1]（プリセットモード）が交互に切り替わります。
3. 選択後 (ENTER) ボタンを押すと画面は [11] に戻ります。*

*** プリセットモードを選択した時は以下のプリセット選択画面へ移行します。**

4. 3で (ENTER) ボタンを押すとプリセット個数が表示（プリセット個数が3個であれば [3P] と表示）されます。
5. (UP) ボタンを押し、プリセット個数を希望の数値へ変更します。**入力可能な値は2P～5Pです。**
6. 選択後 (ENTER) ボタンを押すと画面は [11] に戻ります。

6. パラメータ設定

● パスワード設定

1. (UP) ボタンを押し、画面の表示を [14] と変えます。
2. (ENTER) ボタンを押すと設定モードの選択画面へ移行します。(UP) ボタンを押すと [0]（無効）・[1]（カスタム）・[2]（有効）と順番に切り替わります。
3. 選択後 (ENTER) ボタンを押すと画面は [14] に戻ります。※1、2

※1 [1]（カスタム）を選択した時は以下の選択画面へ移行します。

4. 3で (ENTER) ボタンを押すと**温度設定時にパスワードで制限するか**選択する画面へ移行します。
5. (UP) ボタンを押すと [1 0]（パスワードなし）と [1 1]（パスワードあり）のどちらかに表示が切り替わります。
6. 選択後 (ENTER) ボタンを押すと**プリセット選択モード時にパスワードで制限するか**選択する画面へ移行します。
7. (UP) ボタンを押すと [2 0]（パスワードなし）と [2 1]（パスワードあり）のどちらかに表示が切り替わります。
8. 選択後 (ENTER) ボタンを押すと**アジャストモード時にパスワードで制限するか**選択する画面へ移行します。
9. (UP) ボタンを押すと [3 0]（パスワードなし）と [3 1]（パスワードあり）のどちらかに表示が切り替わります。
10. 選択後 (ENTER) ボタンを押すとパスワード設定画面へ移行します。

※2 [2]（有効）を選択した時は以下のパスワード設定画面へ移行します。[1]（カスタム）を選択した場合、※1の選択終了後に以下のパスワード設定画面へ移行します。

11. 3桁目が点滅し文字入力を受け付けている状態です。(UP) ボタンを押し、3桁目の表示を切り替えます。
12. 希望の文字を決定後、(ENTER) ボタンを押すと点滅が2桁目へ移ります。同じ手順で2桁目、1桁目と文字を入力します。
13. 1桁目まで入力完了後 (ENTER) ボタンを押すと画面は [14] に戻ります。

必要な変更を行なった後、パラメータNo. 表示画面で (ENTER) ボタンを2秒以上押し続けると [y] と表示されます。この時 (UP) ボタンで表示を [y] と [n] に切り替えることが可能です。パラメータ設定を終了する時は [y] を、再度パラメータ設定を行なう時は [n] を選択し、(ENTER) ボタンを押します。

[y] を表示し、(ENTER) ボタンで確定するまで設定変更は完了しません。途中で電源を切ると設定前の状態に戻りますのでご注意ください。

7. メンテナンス

製品を長く、よりよくお使いいただくため、定期的にメンテナンスを実施してください。使用する温度や、はんだ・フラックスの質・量によって製品の消耗の度合いが違いますので、使用状況に応じてメンテナンスを行なってください。

⚠ 警 告
本機は高温となりますので、作業には十分ご注意ください。また、特に指示のある所以外では、必ず電源を切り電源コードを抜いておいてください。

● こて先のメンテナンス

1. 温度を250℃に設定します。
2. 温度が安定したらクリーニングスポンジでこて先をぬぐい、こて先を点検します。
3. はんだめっき部に黒い酸化物が付着している場合は、新しいはんだ（フラックス含有）を送り、クリーニングスポンジで拭き取ります。酸化物がとれるまで繰り返してください。その後、新しいはんだで覆ってください。
4. こて先が変形していたり、消耗が激しい場合は交換してください。

⚠ 注意
酸化物を取るためにやすりがけしないでください。

■こて台を利用したこて先クリーニング法

1. クリーニングスポンジを使用

セット品に含まれているクリーニングスポンジを使用してこて先をぬぐいます。
軽くはんだをぬぐうことから酸化物を除去することまで広汎的に使用できます。

2. クリーニングワイヤーを使用

クリーニングスポンジでなかなかぬぐいとれない付着物がある場合、クリーニングワイヤーを用いると除去し易くなります。

8. 点検

接続コードのプラグをはずし、こて部のピン間の抵抗値を測定してください。

a. ピン4-5間（ヒーター）	2.5～3.5Ω（常温時）
b. ピン1-2間（センサー）	43～58Ω
c. ピン3-こて先	2Ω以下

a、bの値が表の数値と異なる場合は、ヒーター（センサー）か接続コードを交換してください。cの値が表の数値を超える場合は右図のようにサンドペーパーかスチールウールで軽くこすり、酸化物を取り除いてください。

3 4 2 5 1

軽くこすります

1. ヒーター/センサー切れ

● 分解の仕方

1. 袋ナット①を左に回し、保護パイプ②とこて先③を取りはずします。
2. ニップル④を左に回して取りはずします。
3. こて先側にヒーター⑥とコード⑦を引っぱり、グリップ⑧からはずします。
4. アーススプリング⑤をターミナル⑨のスリーブより抜き取ります。

ヒーター抵抗値（赤）　センサー抵抗値（青）

※ヒーターは常温時に測定してください。
1. ヒーター抵抗値（赤）2.5～3.5Ω
2. センサー抵抗値（青）43～58Ω
抵抗値が異常な場合は、ヒーターを交換してください。（交換方法は交換部品付属の説明書を参照）

交換後
①ピン4とピン1またはピン2の間/ピン5とピン1またはピン2の間の抵抗値が∞で無い場合、ヒーターとセンサーが接触しています。基板を痛める原因となりますので、接触しないよう組み立ててください。
②リード線がねじれていないか、アーススプリングは正しく接続されているか確認するため "a" "b" "c" の抵抗値を測定してください。

2. 接続コードの断線
接続コードを調べるには右に示す2通りの方法があります。

1. 温度を480℃に設定し、接続コードを様々な角度からコードブッシュの部分も含め、ねじったり曲げる等します。S-Eが表示される、または通電ランプは点灯するが、温度が上昇しない場合、コードを交換してください。

⚠ 注意

接続コードが正常でも、480℃に達すると点滅します。

2. プラグとピンとターミナルリード線の間の抵抗値を測定します。
ピン1-赤 ピン2-青 ピン3-緑 ピン4-白 ピン5-黒
抵抗値：0Ω
0Ωより大きい、または∞の場合、交換してください。

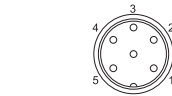
9. トラブル発生時に

⚠ 警 告

- 内部点検や部品交換の際、電源プラグは必ず抜いてください。感電の恐れがあります。
- 電源コードが断線した場合は危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格のある人により交換される必要があります。

● 電源スイッチを入れても動作しない。

点検：電源コードまたは接続プラグが外れていませんか。
対処：接続する。
点検：ヒューズが切れていませんか。
対処：なぜヒューズが切れたのか原因を確認後、ヒューズを交換してください。
a. こて部の中でショートしていませんか。
b. アーススプリングがヒーターに接触していませんか。
c. ヒーターリード線がねじれたり短絡したりしていませんか。
原因が分からない場合にも、交換してください。再びヒューズが切れる場合には、修理のため本体ごと送り返してください。

● ヒーター通電ランプは点灯しているが、こて先が熱くならない。 S-E と表示される。

3 4 2 5 1

点検：接続コードが断線していませんか。ヒーター/センサーは切れていませんか。
対処：断線している場合はグリップを、ヒーター/センサー切れの時はヒーターを交換してください。（下の表、センサー間の抵抗値をご参照ください。）

a. ピン4-5間（ヒーター）	2.5～3.5Ω（常温時）
b. ピン1-2間（センサー）	43～58Ω
c. ピン3-こて先	2Ω以下

● H-E と表示される。

点検：ヒーターは切れていませんか。
対処：ヒーター切れの時はヒーターを交換してください。（上の表、ヒーター間の抵抗値をご参照ください。）

● こて先が熱くなったりならなかったりする。

点検：接続コードが断線していませんか。
対処：断線している場合はグリップを交換してください。

● こて先にはんだが乗らない。

点検：こて先の設定温度が高すぎませんか。
対処：適正温度に設定してください。
点検：こて先に酸化物が付着していませんか。
対処：酸化物を取り除いてください。（7. メンテナンスの「● こて先のメンテナンス」の項をご参照ください。）

● こて先温度が低過ぎる。

点検：こて先に酸化物が付着していませんか。
対処：酸化物を取り除いてください。（7. メンテナンスの「● こて先のメンテナンス」の項をご参照ください。）
点検：こて先温度のずれを調整していますか。
対処：設定温度のずれを調整してください。（5. 使用方法の「● 設定温度と実際のこて先温度のずれを調整する場合」の項を参照してください。）

● こて先がはずれない。

点検：こて先にヒーターが焼きついていませんか。またこて先劣化によって膨張していませんか。
対処：こて先とヒーターを交換してください。

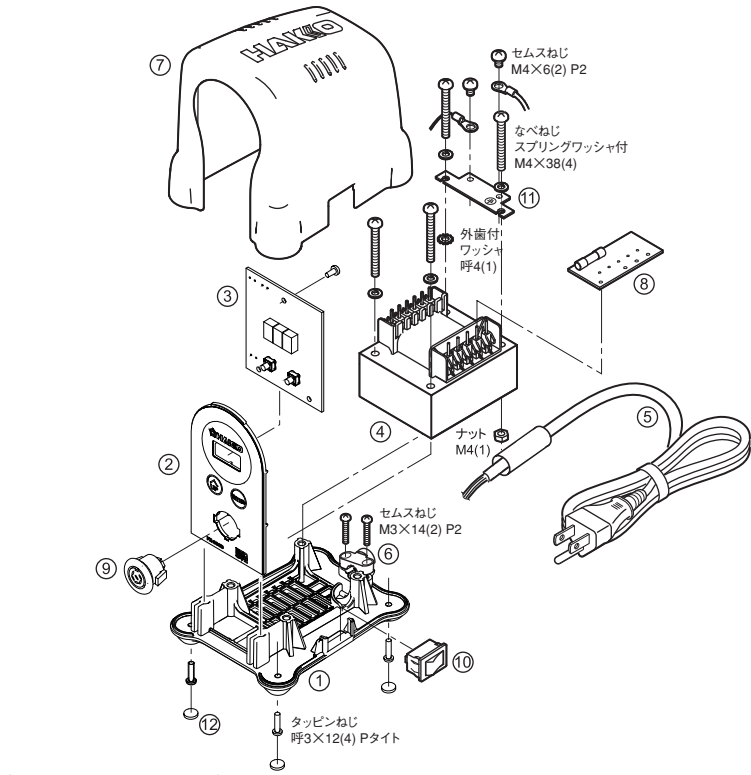
● 希望の設定温度がでない。

点検：こて先温度のずれを調整していますか。
対処：設定温度のずれを調整してください。（5. 使用方法の「● 設定温度と実際のこて先温度のずれを調整する場合」の項を参照してください。）

10. こて先の種類

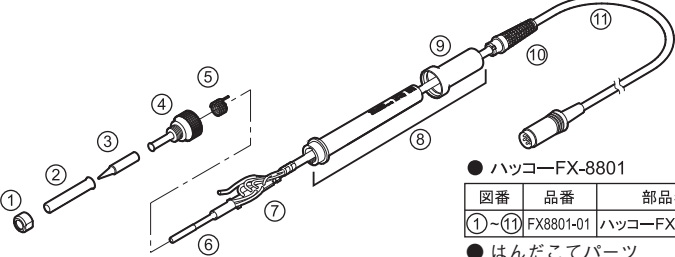
T18-B　B型
T18-SB　SB型
T18-BR02　0.2BR型
T18-BL　BL型
T18-C05　0.5C型
T18-C08　0.8C型
T18-C1　1C型
T18-CF1　1C型　面のみ
T18-CF15　1.5C型　面のみ
T18-C2　2C型
T18-CF2　2C型　面のみ
T18-CSF25　2.5C型　面のみ
T18-C3　3C型
T18-CF3　3C型　面のみ
T18-C4　4C型
T18-CF4　4C型　面のみ
T18-C5　5C型
T18-K　K型
T18-D08　0.8D型
T18-D12　1.2D型
T18-D16　1.6D型
T18-D24　2.4D型
T18-D32　3.2D型
T18-DL12　1.2DL型
T18-DL2　2DL型
T18-DL32　3.2DL型
T18-S3　S3型
T18-S4　S4型
T18-S6　S6型
T18-S9　S9型
T18-I　I型

※指定外のこて先を用いた場合、仕様通りの性能がでない可能性があります。必ず上記指定のこて先をご利用ください。

11. 部品リスト（ステーション）

● ハッコーFX-888Dステーション

図番	品番	品名	仕様
①	B3733	シャーシ	
②	B3734	フロントパネル/イエロー	BY用
	B3735	フロントパネル/グレー	SV用
③	B3736	基板/制御用	
④	B3737	トランス	100-110V用
⑤	B3740	電源コード/ゴム 2 極接地型	
⑥	B3750	コードストッパー	
⑦	B3450	ケース上/BY	
	B3452	ケース上/SV	

図番	品番	品名	仕様
⑧	B3721	基板/ヒューズ用	100V用
⑨	B3463	レセプタクル	
⑩	B2852	スイッチ	
⑪	B2227	アースプレート	
⑫	B2405	ゴム足	4個入り

11. 部品リスト（こて・こて台）

● ハッコーFX-8801

図番	品番	部品名	仕様
①～⑪	FX8801-01	ハッコーFX-8801	

● はんだこてパーツ

図番	品番	部品名	仕様
①	B1785	袋ナット	
②	B3469	保護パイプ	
③		こて先	「10.こて先の種類」参照
④	B2022	ニップル	
⑤	B2032	アーススプリング	
⑥	A1560	ヒーター	
⑦	B2028	ターミナル	コードストッパー付
⑧	B3470	グリップ	断熱カバー付
⑨	B3471	断熱カバー	
⑩	B3467	コードブッシュ	
⑪	B3468	こて接続コード	

● ハッコーFH-800 こて台

図番	品番	部品名	仕様
①～⑤	FH800-01BY	ハッコーFH-800	ブルー・イエロー
①～⑤	FH800-01SV	ハッコーFH-800	シルバー

● こて台パーツ

図番	品番	部品名	仕様
①	A1559	クリーニングスポンジ	
②	B3472	こて台本体/Pキャップ付	BY ゴム足付
	B3473	こて台本体/Pキャップ付	SV ゴム足付
③	B3474	マウスキャップ	
④	B3475	屑受け	ゴム足付
⑤	B3476	スライドロック	
⑥	A1561	クリーニングワイヤー	